



養父市社協だより

WELFARE
INFORMATION

市民と福祉をむすぶ

かけはし

第207号

9月 2021



■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
令和3年9月15日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail :info@yabu-shakyo.jp
■ホームページ <http://www.yabu-shakyo.jp/>

◀ 「ブログでかけはし」QRコード

▶スクリーンの前でマスクを外し記念撮影。当日は換気、消毒、一人ひとりの間隔をあけるなどコロナ対策に取り組みながら上映しました
(=8月3日、建屋公民館)



建屋区福祉連絡会「福祉映画会」を開催

◀ 上映前には出演俳優の話や区内の近況を話しあいました



上映前、参加者は「父親が福本さんのファンで、テレビで紹介されたときに観たいと思ってたんや」「以前、昔の建屋の映像を見せてもらつたら、子どもが道路で遊んでも一台も車が通らへんかったな」など話に花を咲かせていました。

参加者からは、「みんなと一緒に観る映画は、いつもど違ひ新鮮で楽しくてよかつたです」「みなさんとお話できてよかったです、またしてほしいわ」など喜びの声が上がっていました。

映画は、香美町出身で「5万回斬られた男」として有名な、福本清三さん（令和3年1月没）が初主演を務めた作品です。

8月3日の夜、建屋公民館で「福祉映画会」が開催され、区民15人が参加しました。コロナ禍でサロンや喫茶など住民同士の交流が難しいなか、マスクを外さず楽しく過ごせる映画会をと、建屋区福祉連絡会で企画。同区での映画会を数年ぶりに復活させました。

今回ナコのつながりのページ

新たなボランティア活動のカタチ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出や行事の自粛が求められ、今までのような地域福祉活動やボランティア活動は難しくなっています。

そんななかでも、つなぎを大切にしようと、ボランティアは活動を工夫し、新たな取り組みを生み出しています。

今回は、コロナに負けないボランティア活動を紹介します。

コロナ禍で地域の活動や行事が

制限されると、高齢者の閉じこもりによるフレイルの進行や、社会的孤立が懸念されます。

そうしたなか、これまで以上に「心に寄り添う見守り合い活動」が大切になってくるため、ボランティアや民生委員・児童委員が連携した活動を進めています。

▲多くのボランティアグループに協力を募ったうちわづくりは、互いに親睦を深める場にもなりました（＝7月2日、ふれあいいきさロンそよ風）

体調を気遣うメッセージカードで 友愛訪問（大屋地域）

住民同士のつながりを途切れさせない取り組みとして、7月1日、大屋地域の87歳以上のひとり暮らし高齢者61人へ、ボランティア22

人が友愛訪問を行いました。

参加ボランティアは、事前に対

象者へ訪問日の連絡と、体調を気遣うメッセージカードを作成。

当日は、冷感タオルや除菌グッズ、自宅でできる体操や悪徳商法防止啓発のチラシなどを届けると共に、体調や外出、困りごとなどの生活状況アンケートの聞きとりを行いました。

ボランティアは、「お元気に暮らしている様子が分かつて安心しました」「コロナで活動を自粛していましたので、とても良い機会になりました」今後の活力になりました」と思いを口にしていました。

うちわでつながる友愛訪問 (養父地域)

養父地域では、通例事業の「ボランティアのつどい」と「年輪の会（ひとり暮らしのつどい）」をタイアップし、75歳以上のひとり暮らし高齢者へ友愛訪問を計画。ボランティアグループ同士の交流を図る目的で、3日間に分散して延べ59人が集まり、メッセージカードを描いたうちわを作りました。そして、善意銀行に寄附された手作りマスクや熱中症予防

工夫した活動の展開

緊急事態宣言中でもふれあい郵便の書き手ボランティアはそれぞれの自宅で、また給食サービスの配食ボランティアは消毒液を持参しながら利用者宅を訪問するなど活動を継続しています。

このほかにも、いきいきサロンの調理や体操指導などボランティアは感染予防に取り組みながら、工夫して活動しています。



▲「いつもこうやって気にかけてくれて嬉しいわ」と笑顔の高齢者（＝7月1日、大屋地域内）

養父市ボランティア・市民活動センター

令和3年度 登録ボランティアグループの紹介



No	支部	ボランティアグループ名	主な活動内容	No	支部	ボランティアグループ名	主な活動内容
1	八鹿	ふれあいパンクラブ	ひとり暮らし高齢者へふれあい郵便の手紙を書く活動	43	養父	コスモス会	区内のふれあい喫茶、見守り等の地域福祉活動
2		みずばしょう養父市女性会	地域福祉活動への協力、子育て応援ネットの実施	44		傾聴ボランティア 「みみの会」養父	施設、地域行事等での傾聴活動
3		八鹿自治協議会 喫茶ボランティアグループ	ふれあい喫茶を毎月開催	45		#みんぐす	市などが主催する講座・コンサート等の託児・子育て支援
4		八鹿R.V.Cひよっこ	視覚障害者に声の便りを届けるテープづくり	46		E-park(いーぱーく)	英語あそびを取り入れた子育て広場の実施
5		宿南地区自治協議会 ふれあい隊	ふれあい俱楽部の清掃、イベント運営・支援	47		養父友遊手話の会	手話学習、当事者との交流
6		宿南地区自治協議会 花水木の会	ふれあい俱楽部の清掃、イベント運営・支援	48	大屋	口大屋地区ボランティアグループ	ひとり暮らし高齢者の支援、介助、友愛訪問、配食、地域での介護予防活動
7		小佐ふれあい俱楽部 赤さんぽの会	ふれあい俱楽部イベント運営・支援	49		大屋地区ボランティアグループ	ひとり暮らし高齢者の支援、介助、サロン食事づくり、古切手収集、地域での介護予防活動、災害時支援
8		高柳ふれあい俱楽部 支援ボランティア	ふれあい俱楽部イベント運営・支援	50		南谷地区ボランティアグループ	ひとり暮らし高齢者の支援、介助、友愛訪問等
9		子育て支援ようか	イベント等の託児協力	51		西谷地区ボランティアグループ	ひとり暮らし高齢者の支援、サロン食事づくり、友愛訪問等
10		のぎくの会	地域福祉活動への協力	52		宮本ボランティアグループ	ひとり暮らし高齢者の支援、地域での介護予防活動、環境美化活動
11		八鹿手話サークル	手話学習支援	53		さくら会	ふれあい郵便、施設訪問
12		妙見荘喫茶ボランティア	妙見荘喫茶の手伝い	54		糸原さわやか会	ひとり暮らし高齢者の支援、地域での介護予防活動、サロン食事づくり
13		大森花みづき会	地域での助け合い活動、異世代交流事業等	55		琴弾きの会	地域での介護予防活動、友愛訪問、環境美化活動、介助
14		八鹿小校区防犯グループ	登下校時の安全パトロール防犯グループなど発行	56		民生委員・児童委員女性部会	デイサービス介助、サロン食事づくり
15		但馬長寿の郷「まごころクラブ」	長寿の郷の行事協力	57		明延すずの会	ひとり暮らし高齢者の支援、地域での介護予防活動、環境美化活動
16		介護予防センターようか	地域での介護予防の啓発等	58		傾聴ボランティア 「みみの会」おおや	施設等での傾聴活動、地域内の福祉活動
17		養父市消費者の会八鹿支部	消費生活に関する啓発等	59		青い空	視覚障がいの方への支援活動
18		津軽三味線三志会	地域、施設での演奏	60		民生OB会	ひとり暮らし高齢者の支援、サロン食事づくり
19		養父要約筆記「みずばしょう」	難聴者の支援	61		若杉おたすけクラブ	地域内の福祉活動
20		下町さくら会	地域のふれあいサロンの開催	62		おおやアート村お助け隊	おおやアート村ピッグラボの運営補助
21		地域ふれあいの家 「ほっとハート」	ふれあいの家の管理、サロンの支援活動	63		古民家カフェ「たぬき」	認知症カフェ「たぬき」の運営サポート
22		子育てサロン高柳	子育てサロンの実施	64	関宮	大谷ミニホーム ひだまり世話人会	ミニホーム「ひだまり」の支援、食事づくり
23		ピスケット	福祉施設等へ友愛訪問	65		尾崎ボランティアグループ	はちぶせのリネン交換、介護予防事業の食事づくり
24		いきいき元気クラブ	福祉施設等へ友愛訪問	66		別宮ボランティアグループ	ふれあい喫茶の開催支援等
25		傾聴ボランティア 「みみの会」ようか	施設、地域行事等での傾聴活動	67		さくらんぼの会	高齢者と手芸を通して交流、介護予防事業の食事づくり
26		やぶ日本語教室	市内および近隣市町在住の外国の方への日本語指導	68		ベンクラブ	ひとり暮らし高齢者へふれあい郵便の手紙を書く活動
27		ちょっとたのまれ隊	ひとり暮らし高齢者の買い物・移送支援	69		たんぽぽの会支援 ボランティアグループ	在宅介護者当事者組織「たんぽぽの会」支援
28		精神保健ボランティアほほえみ	障害者施設等で話し相手、作業の手伝い等	70		手作り広場ほわほわ	デイサービス利用者へおやつ作りと交流活動
29		点訳ボランティアあかり	点訳活動、点字学習支援	71		関宮子育て支援 ボランティアグループ	関宮地域の子育て支援活動、講演会等の託児
30		子育てサロン伊佐	子育てサロンの実施	72		あすなろ	はちぶせの里で生け花教室、介護予防事業の食事づくり
31		ひょうご森の俱楽部 養父市吉井活動地	森林ボランティア活動	73		相地ボランティアグループ	はちぶせの里のリネン交換、介護予防事業の食事づくり
32	養父	養父給食ボランティア	配食、安否確認	74		逆水ボランティアグループ	区内事業の開催支援、介護予防事業の食事づくり
33		おたよりボランティア	ひとり暮らし高齢者へふれあい郵便の手紙を書く活動	75		大久保ボランティアグループ	介護予防事業の食事づくり
34		朗読ボランティア「声友」	視覚障害者に声の便りを届けるテープづくり	76		丹戸ボランティアグループ	介護予防事業の食事づくり
35		わくわくWILL	障害児への作業療法、動作訓練実施	77		あじさいの会	介護予防事業の食事づくり
36		女性民生委員 ボランティアグループ	年輪の会(ひとり暮らし高齢者のつどい) 支援、グループホーム訪問	78		民生委員ボランティア	介護予防事業の食事づくり
37		養父中学校ボランティア部	施設の掲示板作成、喫茶コーナー、ふれあい郵便	79		あたご会	プレーパークスタッフ
38		やぶお手玉の会	施設入所者とのリハビリを兼ねた交流会実施	80		みみの会関宮	傾聴活動
39		子育てサロン「よよ風」 サポート	子育てサロン運営サポート	81		レタスクラブ	介護予防事業の食事づくり
40		サポートオレンジ	地域での介護予防の啓発、歌体操の普及等	82		グループDカフェ	認知症カフェ「出会いカフェ」の運営・サポート
41		菊恵会三谷支部	施設訪問して演舞披露	83		中鉱F(なかこうえふ)	介護予防事業の食事づくり、地域のサロンへの参加
42		上数崎ふれあいクラブ	地域のふれあい喫茶の開催	84		サロンボランティア 「スイートピー」	いきいきサロン関宮の運営支援

令和3年8月31日現在



養父市ボランティア・市民活動センターでは、新規グループや個人ボランティア、特技を活かしたボランティア講師も募集しています。興味のある方は各支部へお問い合わせください。



▲谷口氏の話に耳を傾ける参加者（＝8月19日、関宮ふれあいの郷）

今月の 地域だより



介護者の会で災害を学ぶ

「ひざ」という時に動けるように

8月19日、関宮ふれあいの郷でたんぽぽの会（介護者の会）が開催され、介護者やボランティアなど11人が参加しました。

からは、養父市防災安全課
危機管理監谷口和幸氏を講師
に「もしもの災害に備えて」
と題して、養父市における災
害の現状と災害時の備え、新
型コロナウイルス感染拡大防
止を考えた避難行動について
学びました。

住む地域の災害リスクを知り、災害時の対応について確認を行いましょう」と呼びかけました。

谷口危機管理監は、災害発生時、自分の家は大丈夫だるうと考える心の働き「正常性バイアス」についてふれ、「災害時、危険な場所にいる人は避難することが原則です。家族で年1回防災会議を開いてみてください。自分の

参加者の福井厚子さん
本千津子さんは「車いすでも
避難ができるのか不安でした
が、避難の体制があると知り
安心しました」、「車いしくじ
てもはつきり安全と聞える場
所はないんだと思いました。
いざという時にすぐ動けるよ
うにしておきたふだす」と語
していました。

10月は 里親月間

私たちの身近には、さまざまな事情により家族と一緒に暮らすことができない子どもたちがいます。

兵庫県では、子どもたちを家族の一員として、温かく迎え入れ、子どもたちの心身の成長を支えてくださる「里親」を求めていきます。

詳しくは、下記へ問い合わせください。



問い合わせ先

豊岡子ども家庭センター

電話：0796-22-4314

子育てサロン・放課後プレーパークの案内

* 新型コロナ感染予防のため、
予定が変更になる場合があります。

④ 第207号 かけはし
市内各地で福祉連絡会が開催され、災害に備えて情報の共有が行なわれていて、あらためて備えは
大切だと感じました。（関宮地域 男性 73歳）

今月の かけはしさん



かわもと
川本 瑞有香さん
〔但馬農業高等学校
ボランティア部部長〕

但馬農高ボランティア部は、ふれあい郵便やプレー・パークのお手伝い、学校周辺のごみ拾い等を中心活動しています。一人でも多くの方に喜んでもらえるよう常に相手の立場に立って物事を考えるという事を大切にしています。活動を通して何より嬉しいのは、出会った方々の「ありがとうございます」という言葉です。

▼物品の寄附	・森 玉ねぎ、じゃがいも	・田村 弘明	・別宮 三谷	・伊佐 高木 正司	・大谷 100,000円	・仲町 石原 大垣 昭夫	・中間 上垣 延
・匿名403回	5,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	50,000円	50,000円
▼亡父供養							
・中間 上垣 延	廣瀬 康秀	小橋千代子	秋山 寛明	米田 昭雄	大垣 昭夫	白米、じゃがいも、なす、ピーマン、キュウリ、トマト、かぼちゃ、タオル、ジュース、下着、傘、紙おむつ	とうもうこし、みょうが

こうのとり大使による

縁結び交流会

運命の人と出会いませんか

日 時	令和3年11月21日(日) 12:30~15:45
場 所	県立但馬長寿の郷
参 加 対 象	男性 20歳~45歳の 但馬在住又は在勤の独身者 女性 20歳以上の 県内在住又は在勤の独身者
内 容	1対1・フリートーク 等
参 加 費	男性1,500円 女性1,000円
募 集 定 員	男女各10名 (応募多数は抽選)
申込締切	10月20日(水) 必着
申込方法	Eメール、申込用紙、HP (あいサポート会員のみ) ※電話申込不可

問合せ・申込先

但馬出会いサポートセンター TEL: 079-662-7701
(開館日時 水・土・日 9:00~17:15)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって中止する場合があります。

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています。
〔養父市善意銀行へ寄附金の預託された方は寄附金控除を受けられる場合があります。
詳しくは事務所までお問い合わせください。〕

善意銀行だより



訂正とお詫び

8月号(206号)の5ページ「今月のかけはしさん」のご氏名に間違いがありました。左記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

【誤】
・梅井秀樹 ↓・梅井英樹
【正】
・中間 上垣 延



分割ハズレでふくじ Quoカードが当たる!

バラバラになった漢字を組み合わせて
漢字2文字の言葉を作つてね。
■ヒント 赤い羽根○○募金

六口十

■応募方法 はがきまたは、FAXに答えて住所、氏名、フリガナ、年齢、電話番号、「かけはし」をお読みの上、「ご応募ください」。
正解者の中から抽選で3名さまにQuoカードを贈ります。

■〆切 令和3年9月30日必着
■応募先 〒667-0022
養父市八鹿町下網場320
「福祉の杜」内
FAX 662-0161
養父市社会福祉協議会

★前回の答えは
『夏休み』でした

西村美奈子(京口)

田村婦美代(森)

稻津 幸子(玉見)
以上3名の方が当選されました。
おめでとうございます。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定が変更になる場合があります。

心配ごと相談・結婚相談 13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか?

- 9月 24日(金) 関宮ふれあいの郷
- 10月 1日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- 10月 8日(金) 社協養父支部
- 10月 15日(金) 大屋保健センター

◆WE L(うえる)♥縁(えん)♥友(とも)♥婚(こん)

※毎月第2・第4日曜日に開設する結婚相談(無料)

■日時 10月10日(日)、24日(日) 13:30~16:00

■場所 ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」

弁護士による無料法律相談 13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 令和3年11月17日(火)
- 場 所 関宮ふれあいの郷
- 相 談 時 間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 ☎079-662-0160

くらしの法律相談 8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、日常生活自立支援事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月～金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



のむら いちた
野村 一太ちゃん ⑥歳3ヶ月(左・男の子)
けんた
建太ちゃん ②歳9ヶ月(右・男の子)

(養父市場:兄弟)



お父さんの直樹さん、お母さんの朋美さんに
きました♪

◆名前はどのようにつけましたか?

一太は、なにか1つのことを成し遂げるような人になってほしい、建太は色んな価値観がある時代でも右往左往せず泰然自若とした人になってほしいと願いを込めました。

◆今、興味をもっていることはなんですか?

一太は料理が大好きで、クッキーやパンケーキなどのおやつを作ったり、包丁を持って夕飯のお手伝いもしてくれたりします。建太は童謡、手遊び歌が大好きでずっと歌っています。

◆ご両親から一言メッセージ

これからも兄弟仲良く、いっぱい笑って元気でいてね。

まちのボランティアSun's

なか 中 鉱 F ~

(関宮支部)

代表 中村順子／会員数9人／令和2年6月結成

*どのような活動をしていますか?

結成から間もなくコロナ禍となり、活動を広げることができていませんが、今はいきいきサロン関宮の食事作りボランティアに参加しています。

*結成のきっかけは?

元はフラフープを練習する有志の集まりでした。練習を始めて1年が経過した頃、練習が休止となつたため、他に何かできないか考えた結果、中瀬、足坂、鉱山区の有志でボランティアグループを結成することになりました。グループ名のF(えふ)は、フリー、自由という意味でメンバーが増えて欲しいとの願いを込めています。

*活動での喜びは?悩みは?

メンバーの年齢も30~70代と幅広く、世代年代を越えて知恵、方言、体験の伝承と、コミュニケーションの楽しさとを感じながら時間の共有ができるのです。

ンの楽しさとを感じながら時間の共有ができるのです。

*今後の抱負は?

地区的行事で何かお手伝いができたらと考えています。また、まちづくりの行事にメンバーが参加できたら、楽しくにぎやかになると思っています。



この広報紙は共同募金配分金が使われています。